

取つて下さりたる私本冊ナリ近に取つてこれ
無いと私がゆづり東ノ京へ行つてそのとす
つづまする身が成候得ば其の時におん生
の力に頼度候存石支那の私のれをゆくは通
知下され度候先づは書面届之由申候に候

栗鴨町三ノ二六

福田秀一様

10.8.19 九月有栗町三ノ一
綱島生

友人の采難と落し 四ノ
コ平生と神戸より高
務下ノ出浪仕の分已際
之到申候ゆれ 四ノ
速内功東お出候ゆれ
貴殿は林口吹足候ゆれ
ゆれは茶と田故海屋は男
お生各岸立候ゆれ申候

拝啓

過日御紙面下され有難く拝見仕り候取れば登
石支部の方へよろしく通知下され度候申ハ生
安心致し居り候次に古川鶴業所よりハ生彦
百圓は御承知の通り後と二百圓は綱島にお
くりようされ居り次第に御座候
實づつなる處おしり有難く御禮申候
其れに付し二百圓の訟請をし下されえんは
レヨウ後とて送り申す

二仲申上候田中の方の三百圓の金今だ以つて
綱島が取つて下さりたる其れに就てさい
の手紙で綱島に請求してもどうも取れ無